

株主メモ

【事業年度】

毎年11月1日から翌年10月31日まで

【定時株主総会】

毎年1月

【基準日】

毎年10月31日

【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

【株主名簿管理人事務取扱場所】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【郵便物の送付先または連絡先】

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社
証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031

※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会には、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。

※特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関するお手続きのホームページURL】

<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

【公告方法】

電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。

IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<http://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

株主様ご優待のお知らせ

毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様にご優待券をお送りいたします。今回お送りする株主優待券及びハウステンボスご入場割引券は来年(平成29年)の1月31日までご利用になれます。

【株主優待券】

当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券です。



100株以上…2枚
500株以上…4枚
1,000株以上…6枚

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。

【ハウステンボスご入場割引券】

ハウステンボス株式会社が運営する、ハウステンボス(長崎県佐世保市)に、ご利用いただける入場割引券です。



100株以上…1枚
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ハウステンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ハウステンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。

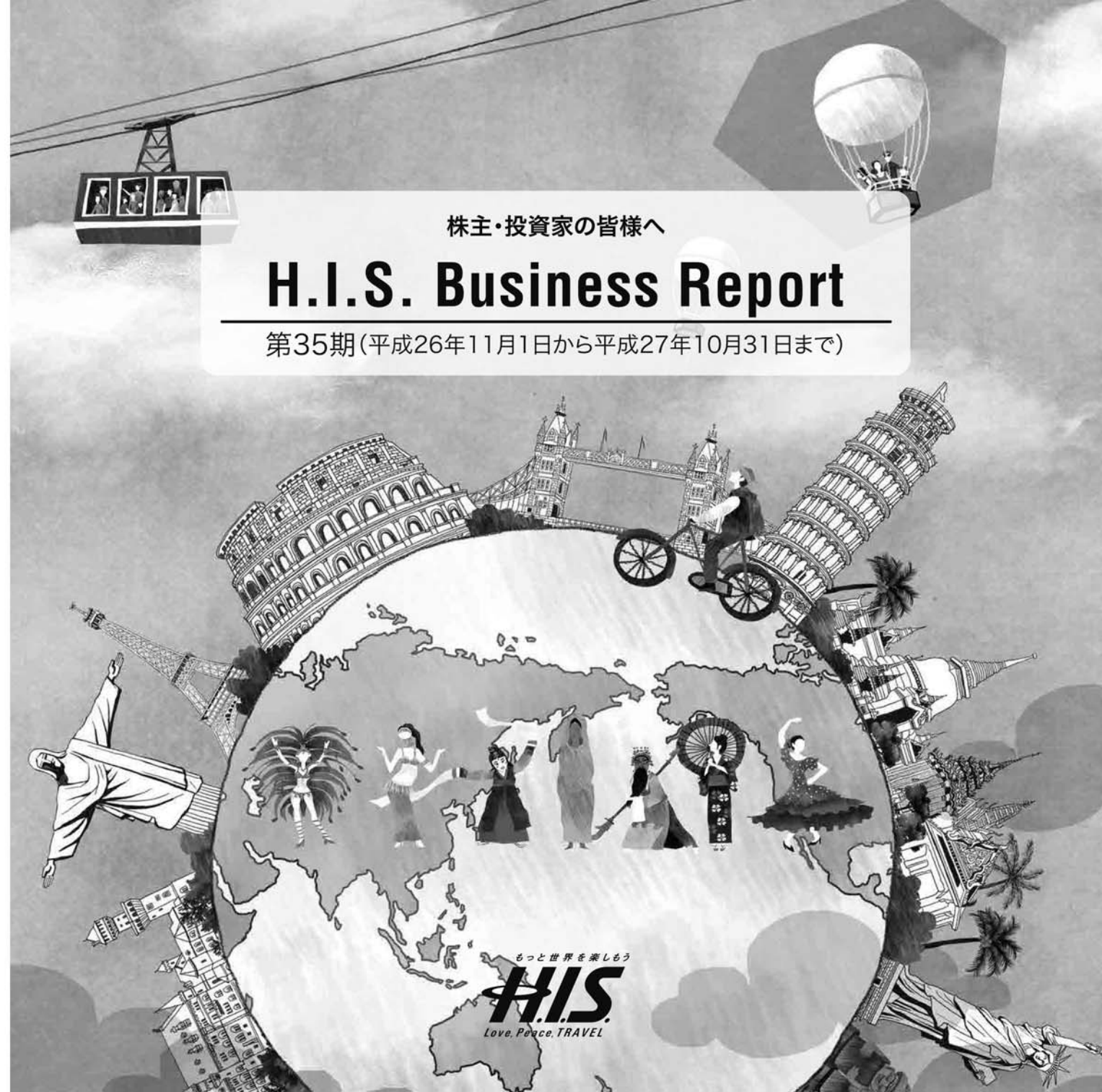
【ラグーナテンボスご入場割引券】

株式会社ラグーナテンボスが運営する、ラグーナテンボス(愛知県蒲郡市)に、ご利用いただける入場割引券です。



100株以上…1枚
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ラグーナテンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ラグーナテンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。



株主・投資家の皆様へ

H.I.S. Business Report

第35期(平成26年11月1日から平成27年10月31日まで)

もっと世界を楽しもう

H.I.S.
Love, Peace, TRAVEL

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様にH.I.S. Business Report(平成26年11月1日から平成27年10月31日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度における旅行市場は、海外旅行においては、円安基調に加え世界情勢不安や感染症などの影響を受けましたが、その一方、国内旅行においては、各地の観光振興や新たな世界遺産登録などを背景とした国内志向の高まりにより順調に推移しました。特に、訪日外国人旅行は、中国や東南アジア諸国の需要が大幅に増加し、訪日外国人数が日本人出国者数を初めて上回り過去最高を更新し続けるなど好調に推移しました。

このような経営環境の中、当社グループでは、お客様への安全・安心な旅を第

一に考え、国内外のネットワークを活用した情報やサービスの提供、品質の更なる向上に取り組みました。また、新たな価値創造へ向けた様々な挑戦を続け、未来を見据えたスピーディな事業展開に努めてまいりました。主な取り組みにつきましては、本書3ページ以降にTopicsとして記載させていただいているとおりでございます。

以上の結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高5,374億56百万円(前期比102.7%)、営業利益199億70百万円(同125.6%)、経常利益226億85百万円(同119.3%)は、いずれも5期連続して過去最高となりました。また、当期純利益につきましても、108億90百万円(同120.3%)と過去最高となりました。

世界情勢の先行きは依然として不透明の中、地政学リスクが高まり紛争等が発生することが懸念され旅行事業に影

響を及ぼす要因はありますが、東南アジアや中国をはじめとした訪日外国人客数の増加基調に加え、国内旅行需要の高まりなど、今後も事業拡大を期待できる分野もございます。一方で、航空会社の直販化や、グローバルに展開し成長を続けるオンライントラベルエージェントをはじめ、IT技術の進化に伴い新たな旅行関連サービスを提供する新興企業など、旅行市場を取り巻く競争は激しさを増しております。今後は市場の変化を見据えた対応が一層必要になると予想されます。

このような環境の中、当社グループは、これまで培ったグローバルネットワークを活用し、世界市場において時代を先取りした新サービスの提供や、新たな価値を創造し、お客様により安心とご満足を感じていただくことで、業績の更なる向上を図ってまいります。

ハウステンボスでは、オンリーワン・ナ

ンバーワン戦略を推し進め、5つの王国「花の王国」「光の王国」「音楽とショーの王国」「ゲームの王国」「健康と美の王国」を中心に、さらに進化させてまいります。また、世界最高水準の生産性の高いホテル「変なホテル」2期棟の建設、エネルギーやサービスロボットの開発などテーマパーク事業以外の分野における新たなチャレンジも引き続き実行してまいります。

株主の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、今後とも当社グループをご愛顧賜り、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年1月

代表取締役社長 平林 朗



高付加価値商品の拡充、販売チャネルの強化



▲熊本ハワイ専門店



▲表参道支店の外観



▲添乗員同行ツアー「impresso」パンフレット



▶ビジネスクラス利用パンフレット



▶スマートフォンアプリ



ビジネスクラス利用コースの拡充や添乗員同行ツアー「impresso」の強化等を行い取扱商品の内容充実にも努めたほか、スタディツアーなどターゲットを明確にした専門商品にも注力しました。店舗展開では、新宿三丁目（東京都）と熊本（熊本県）にハワイ専門店をオープンし、全社で強化しているビーチリゾートの専門店化を進めてまいりました。そのほか、新しいコンセプト店を表参道（東京都）にオープンいたしました。

IT事業では、旅行中の支援アプリや訪日アプリの開発など、スマートフォンを利用したサービス向上を図りました。また、WEBサイトの検索機能の強化・予約手順の簡略化に加え、新たな会員基盤システムの構築など利便性向上にも努めてまいりました。

法人団体事業の取り組み



▲大型イベントの実施▲



©Ross Hamamura SONY photographer

企業様向けや団体旅行の取り組みでは、引き続き大型団体案件（各種イベントや社員旅行等）の受注が増加するなど順調に推移いたしました。また、カード会社の会員様専用「トラベルコンシェルジュデスク」の拡大や、視察や会議などを目的とした訪日団体旅行の受客体制を整備してまいりました。

国内旅行の取り組み



▲H.I.S.号



▲沖縄専用ビーチ
古宇利島(イメージ)



▲ドラえもんで行く沖縄



▲「湯ウエルカム大分キャンペーン」
ロゴ

当社専用ビーチでお楽しみいただけるオンリーワン商品やホテル指定商品の拡充を実施し、重点地域の沖縄の更なる強化を図りました。また、「湯ウエルカム大分キャンペーン」をはじめ自治体と連携した着地型観光ビジネスを推進したほか、人気のバスツアーにおいても発着地を拡大するなど好調に推移いたしました。

訪日旅行事業



◀心斎橋ツーリスト
インフォメーション
センター

▲原宿ツーリスト
インフォメーションセンター

◀訪日旅行集合写真

中国からの受客が大幅に増加したことに加え、訪日専門チームを編成し個人旅行の取り組みを強化するなど東南アジアからの受客も奏功し、引き続き好調に推移いたしました。また、訪日旅行者をサポートする「ツーリストインフォメーションセンター」を心斎橋（大阪府）や原宿（東京都）に新設し（国内8拠点）、観光案内やオプションツアーの販売も強化してまいりました。

海外における旅行事業



▲マダガスカル支店

▲タイトラベルフェア

タイや台湾など各地で開催されたトラベルフェアへ積極的に出展し認知度向上を図りました。また、今後の拡大が見込める中国からの旅行者など日本人以外の受客も強化しました。そして、東南アジアにおける多店舗展開を推進し、タイ29拠点、インドネシア17拠点と拡大したほか、マダガスカル（インド洋）にツアーデスクを開設するなどグローバルに拠点を拡充し、営業拠点網は、国内303拠点、海外62カ国130都市200拠点となりました。

ハウステンボス



▲光と噴水の運河クルーズ

111万本のバラ祭 ▲



◀「変なホテル」ロゴ

変なホテル

変わり続けることを約束するホテル

▼「変なホテル」

ハウステンボスでは、世界最大級の1,100万球超のイルミネーション「光の王国」が夜の園内を彩り、「花の王国」においては、シリーズ史上最大1,500品種111万本のバラが咲き誇る「111万本のバラ祭」を開催するなど、人気イベントを進化させて開催いたしました。また、平成27年5月には、新しい滞在スタイルの創出として「より健やかに美しく」をテーマとした「健康と美の王国」が誕生しました。さらに、同年7月には、今までに無い新規格で世界最高水準の生産性を目指し、変わり続けることを約束するホテル「変なホテル」がオープンするなど新たなチャレンジも行っていました。お客様に1年中楽しんでいただけるよう5つの王国を中心とした「オンリーワン・ナンバーワン」に拘ったイベントや、新たに雨天時にもお楽しみいただける施策、花火・プールなどの季節イベントも拡大して実施した結果、入場者が15年ぶりに300万人を超えるなど引き続き好調に推移いたしました。

新生ラグーナテンボス



▲3Dマッピング「ラルース」



ビーチパーク ▲

平成26年8月に事業承継後、年間を通じた初めての運営となった新生ラグーナテンボスでは、日本初となる3Dマッピング&イルミネーションイベントを導入したほか、日本最大のエア遊具を集めたビーチパークを新設するなど集客力強化に努めました。さらに、地元産素材を中心としたカフェ・レストランをオープンするなど、様々な施策を繰り広げた結果、黒字化を達成いたしました。

ホテル事業の展開



▲ウォーターマーク ホテル & スパバリ ジンバラン



▲ウォーターマークホテルバリ客室

ウォーターマークホテルグループ(ゴールドコースト、ブリスベン、札幌、長崎)、グアムリーフ&オリーブスパリゾート(グアム)各ホテルは、お客様満足や収益性向上に努めた結果、堅調に推移いたしました。また、新たなホテルとして、平成27年5月にインドネシアのバリ島で「ウォーターマーク ホテル & スパバリ ジンバラン」が営業を開始し、同年8月にグランドオープンいたしました。

運輸事業の展開



▲アジア アトランティック エアラインズ

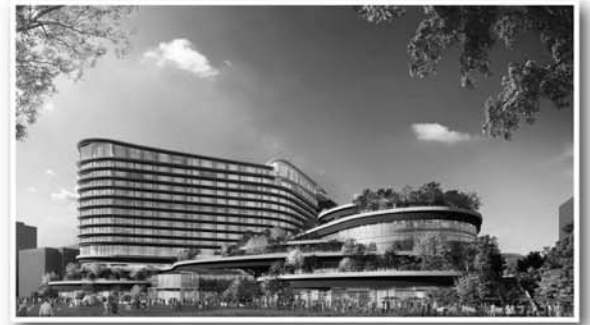


チャーター便のパンフレット ▶

国際チャーター便専門会社のASIA ATLANTIC AIRLINES CO., LTD.は、成田発着便に加え、新たに東南アジアと日本各地との相互チャーター便を実施するなど、チャーター便の特性を最大限に生かす展開を行いました。

引き続き安全運行、お客様満足度の向上に努めてまいります。

九州産交グループ



▲桜町再開発イメージ



◀産交バス

九州産交グループでは、バス事業において、通勤通学の利便性向上を図るなど引き続きお客様本位のサービスの提供に努めてまいりました。

平成30年秋の竣工に向け、熊本県桜町再開発事業も順調に準備が進んでおります。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成27年10月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	212,979	流動負債	122,993
現金及び預金	136,316	営業未払金	21,368
売掛金	18,430	旅行前受金	50,711
営業未収入金	8,279	その他	50,913
旅行前払金	22,010	固定負債	71,261
その他	27,942	社債	20,000
		転換社債型新株予約権付社債	20,153
		その他	31,108
		負債合計	194,254
固定資産	95,025	純資産の部	
有形固定資産	60,761	株主資本	94,280
無形固定資産	5,003	資本金	11,000
投資その他の資産	29,260	資本剰余金	3,665
		利益剰余金	82,150
		自己株式	△2,535
		その他の包括利益累計額	5,248
繰延資産	241	少数株主持分	14,461
		純資産合計	113,990
資産合計	308,245	負債純資産合計	308,245

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成26年11月1日から平成27年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,636
現金及び現金同等物の増加額	2,309
現金及び現金同等物の期首残高	110,145
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	875
現金及び現金同等物の期末残高	113,330

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成26年11月1日から平成27年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	537,456
売上原価	429,201
売上総利益	108,254
販売費及び一般管理費	88,284
営業利益	19,970
営業外収益	3,772
営業外費用	1,057
経常利益	22,685
特別損失	484
税金等調整前当期純利益	22,200
法人税等	8,175
少数株主損益調整前当期純利益	14,025
少数株主利益	3,134
当期純利益	10,890

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成27年10月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	88,551,450 株
発行済株式の総数	68,522,936 株
株主数	12,664 名

大株主の状況(上位10名)

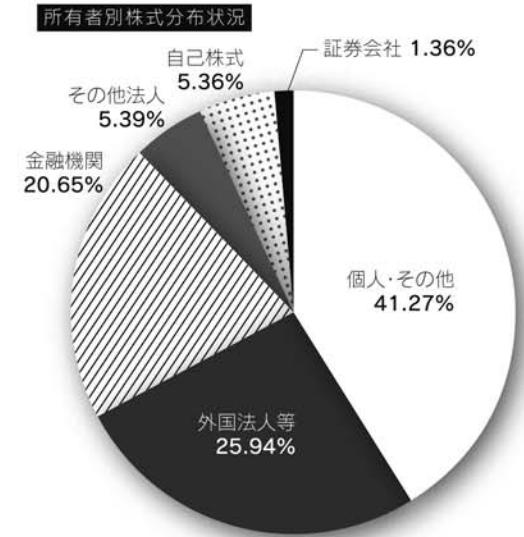
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	19,073	29.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,381	8.29
有限会社 秀インター	3,381	5.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,103	3.24
全国共済農業協同組合連合会	1,139	1.75
行方 一正	1,021	1.57
CBLDN STANDARD LIFE ASSURANCE LIMITED-PENSION FUNDS	983	1.51
澤田 まゆみ	950	1.46
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	869	1.34
シーエムビーエル、エスエーリ、ミュージャナル ファンド	823	1.27

(注)当社は自己株式(3,673,816株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社概要

商号	株式会社 エイチ・アイ・エス
英文社名	H.I.S.Co.,Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	110億円
従業員数(連結)	10,143名(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 303拠点/海外 62カ国 130都市 200拠点
ホームページ	http://www.his-j.com

株式分布状況



会社役員

代表取締役会長	澤田 秀雄
代表取締役社長	平林 朗
専務取締役	楠原 成基
常務取締役	中森 達也
取締役	和田 光
取締役	中谷 茂
取締役	高木 潔
取締役相談役	行方 一正
取締役	平田 雅彦
常勤監査役	関田 園子
監査役	梅田 常和
監査役	山本 克

(注)取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。監査役 梅田常和氏及び監査役 山本克氏は、社外監査役であります。